

「緑の募金」の春期の募金期間が始まりました

～募金を活用した「森の教室」の取組について～

1月15日から「緑の募金」の春期の募金期間が始まりました。皆様から頂いた「緑の募金」は、森林ボランティア等が行う植樹や間伐などの森林整備、子どもたちへの森林環境教育等に使われています。これらの用途のうち、今回は保育園児や幼稚園児に森林の大切さを伝える「森の教室」について紹介します。

鹿浜愛育幼稚園での森の教室の様子



どんぐりくんと森の仲間たちのショー



どんぐりをポットに播く前に説明を受ける子どもたち



どんぐりをポットに播く子どもたち



最後は元気にプロジェクト参加宣言を行いました

●森の教室 どんぐりくんと森の仲間たち

「森の教室」は、「緑の募金」を活用して(公社)国土緑化推進機構と都道府県の緑化推進委員会が開催(特別協力(株)ファミリーマート)し、子どもたちに「森林が持つ様々な役割とその大切さ」を伝えるために始まった全国巡回型のプロジェクト(つなぐ・広げる 緑のリレー・プロジェクト)です。緑の募金のキャラクターである「どんぐりくん」と森の仲間たちからなるキャラバン隊が、各地の保育園や幼稚園を訪ねて行われます。子どもたちは、「どんぐりくん」達のショーを見て森の大切さを学んだ後、どんぐりをポットに播き、「大切に育てます」というプロジェクト参加宣言を行います。

平成24年6月に東日本大震災のため福島県富岡町から郡山市に避難していた子どもたちを対象に開催したのを皮切りに、各地で行われており、昨年11月5日には東京都足立区の鹿浜愛育幼稚園で開催200回の記念となる「森の教室」が開催されました。

これまで29都道府県で開催され、2万人以上の子どもたちが参加していますが、国土緑化推進機構では、全都道府県での開催を目指しています。

●緑の募金について

緑の募金は「寄附」という形を通して、国内外で行われる植樹や間伐などの森林整備や緑化を支援するもので、今回紹介した「森の教室」だけでなく、東日本大震災や平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震の被災地の支援にも使われています。街頭やコンビニ等の店頭、インターネット等を通じて募金が行われていますので、皆様の御協力をお願いいたします。

